

信濃川水系大平川浸水想定区域図

縮尺 1:10,000
0m 100m 200m 300m 500m

1. 説明文

- この浸水想定区域図は、信濃川水系大平川の洪水はん濫により浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。
- この浸水想定区域図は、現在の大平川の河道整備状況を勘案して、概ね30年に1回程度起こる大雨が降ったことにより大平川がはん濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
- このシミュレーションの実施にあたっては、支派川のはん濫、想定を超える降雨、高潮、内水によるはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- なお、当該区域については、五十嵐川左岸のはん濫の影響が考えられますので、別途、指定公表される信濃川水系五十嵐川浸水想定区域図を参照する必要があります。

2. 基本事項等

- 作成主体 新潟県
- 対象となる河川 信濃川水系大平川
実施区間 三条市大字駒込から五十嵐川との合流点まで
- 前提となる降雨 流域全体に対して24時間総雨量226mm、1時間雨量34mmの降雨
- 関係市町村 三条市
- その他計算条件等
 - はん濫計算は、対象区域を50m格子 計算メッシュというに分割して、これを1単位として計算しています。
 - 計算メッシュの地盤高は、1/2,500都市計画図等から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。
 - 連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

新潟県三条地域振興局地域整備部 平成21年8月

凡例

浸水した場合に想定される水深 ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～1.0m未満の区域
- 1.0m～2.0m未満の区域
- 2.0m～5.0m未満の区域
- 河川範囲
- 浸水想定区域の対象となる河川

この浸水想定区域図の作成に係る事業費の一部には、新潟県企業局の水力発電事業の利益が充てられています。